



2023年12月27日

**第8回 リベラルアーツ連続講演会（主催：JSPS 科研費 22K18636
「共生社会での市民性形成のために日本語教育は何ができるか
：現象学的対話実践の試み」・豊橋技術科学大学 総合教育院）
講演者：西 研（豊橋技術科学大学客員教授）**

<概要>

豊橋技術科学大学総合教育院では、2021年度より「リベラルアーツ連続講演会」を開催しております。その第8回として、1月25日（木）、西 研（豊橋技術科学大学客員教授）によるオンライン講演会を開催いたします。

<詳細>

【日時】2024年1月25日（木）14:40-16:10（無料・A2-301教室）

※事前申し込みは不要です。直接、会場へお越しください。

【講演者】西 研（にし けん）（豊橋技術科学大学客員教授）

【タイトル】民主主義と哲学対話

【プロフィール】

1957年鹿児島県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、京都精華大学助教授、和光大学教授、東京医科大学教授（哲学教室）を経て、現在は東京医科大学兼任教授（人間学教室）及び本学客員教授。教育出版小学校国語教科書『広がる言葉』編集委員。

主な研究領域として、1.フッサール現象学を哲学対話と人間科学の方法として洗練すること、2.ルソー・ヘーゲルらの社会哲学を「自由な社会の理念」として現代的に再生すること（日独仏の地方自治の現場での調査を行っている）、3.「支援のための哲学的人間論」を構築すること（単身の生活困窮者を支援するNPOの勉強会に参加し、教育現場との交流も多い）。

主な著書として『哲学は対話するープラトン、フッサールの〈共通理解〉をつくる方法』（筑摩選書）、『まなびのきほん しあわせの哲学』『読書の学校 プラトン「ソクラテスの弁明」』（NHK出版）、『ヘーゲル 自由と普遍性の哲学』『哲学のモノサシ』（河出文庫）ほか多数。

【講演要旨】

どんな社会（国家）も、その構成員がともに生きていくうえでの「基本的な約束」をもっています。日本では「人権と民主主義」がそれにあたりますが、これはもともと、ヨーロッパ近代の哲学者たちが構想し設計したものです。この「設計・構想」とはどういうものだったのか、そしてそれがよいかたちで機能するための条件は何か。前半は、この点についてお話し、後半では、哲学対話が民主主義にとってどんな意義をもちうるか、についてお話しします。

詳細は、以下のリンクになります。

https://las.tut.ac.jp/html_ja/mt_files/202401-sl.pdf



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

第8回

リベラルアーツ 連続講演会

主催 JSPS科研費22K18636「共生社会での市民性形成のために日本語教育は何ができるか：現象学的対話実践の試み」／豊橋技術科学大学 総合教育院

2024年

1月25日 木 14:40-16:10

無料・A2-301教室

講演タイトル

民主主義と哲学対話

講演者：西 研 (豊橋技術科学大学客員教授)

どんな社会（国家）も、その構成員がともに生きていくうえでの「基本的な約束」をもっています。日本では「人権と民主主義」がそれにあたりますが、これはもともと、ヨーロッパ近代の哲学者たちが構想し設計したものです。この「設計・構想」とはどういうものだったのか、そしてそれがよいかたちで機能するための条件は何か。前半は、この点についてお話し、後半では、哲学対話が民主主義にとってどんな意義をもちうるか、についてお話しします。

【講演者プロフィール】

1957年鹿児島県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、京都精華大学助教授、和光大学教授、東京医科大学教授（哲学教室）を経て、現在は東京医科大学兼任教授（人間学教室）及び本学客員教授。

教育出版小学校国語教科書『広がる言葉』編集委員。

主な著書として『哲学は対話するープラトン、フッサールの〈共通理解〉をつくる方法』（筑摩選書）、『ヘーゲル 自由と普遍性の哲学』（河出文庫）ほか多数。



事前の申し込みは不要です。直接会場（A2-301）にお越しください。

お問い合わせ先：liberalarts_tut@las.tut.ac.jp